

# 議員の知見と活動の集約

一般質問は、町政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し見解を求めるものです。議員の知見と活動の集約であり、議会活動の「花形」とも言われています。吉岡町議会では、質問・答弁をあわせて、1人60分の持ち時間があります。

■富岡 大志 議員……………9ページ

1. 防災に関して
2. 学校教育の課題に関して

■山崎 守人 議員……………14ページ

1. 子育て支援について
2. 町有施設について
3. 防災関連について
4. 多文化共生社会について

■廣嶋 隆 議員……………10ページ

1. 吉岡地内における渋川地区広域市町村圏振興整備組合最終処分場基本構想について
2. 今年3月に全戸配布したハザードマップについて

■藤多 ゆかり 議員……………15ページ

1. 吉岡町男女共同参画基本計画 2019～2023 について
2. 子どもを性暴力、虐待から守るための教育現場の取り組みについて
3. 天神東公園の整備の進捗<sup>しんちよく</sup>について

■秋山 光浩 議員……………11ページ

1. 駒寄スマートインター出入り口付近の安全対策などについて
2. マイナンバー制度およびマイナンバーカードの町内状況について

■飯島 衛 議員……………16ページ

1. デジタル化推進について
2. 地域の課題
3. 教育関連
4. 高齢者支援

■宮内 正晴 議員……………12ページ

1. 小学校・幼稚園・保育園について
2. 道路の標示・規制について
3. 福祉・男女共同参画・産後ケアについて

■飯塚 憲治 議員……………17ページ

1. 懸案となっている、インフラ整備などの計画とその進捗状況
2. 人口減少対策、子育てへの取り組みと現状、行政協力者の増加対策

■大井 俊一 議員……………13ページ

1. アフターコロナの町の状況について
2. 通学路などにおける安全対策について
3. 部活動の地域移行の現状について
4. 無形文化財の保護育成について
5. 子ども食堂、子どもの見守り、子どもの居場所

■小池 春雄 議員……………18ページ

1. 子育て支援策
2. スラグ撤去問題
3. ふるさと納税の確保策
4. ハラスメント防止対策
5. 町広報の改善
6. 廃棄物処分場問題

# 災害時の受援計画作成を



とみおか たいし 議員  
富岡 大志



録画映像は  
こちらをCHECK

## 答 BCP 見直し後に作成開始

**問** 災害時の受援体制は、地域の安全・安心を確保する上で極めて重要な要素。地域防災計画の一環として受援計画をしっかりと定め備えることが、災害発生時の迅速な対応につながるが、町の受援計画はまだ定まっていない。速やかに作成を進めていただきたいが。

**答** 総務課長 受援計画と密接な関係にある業務継続計画（BCP）の見直しが必要。この見直しを令和6年度中に完了し、その後速やかに受援計画を作成したい。

**問** 災害からの復旧には、町内外からの災害ボランティアの支援が長期にわたって必要となる。災害ボランティアセンターの設置を想定した運営マニュアルの整備や、災害ボランティアセンター立ち上げの訓練をできるだけ早く進めてほしいが。

**答** 総務課長 災害ボランティアセンターの運営マニュアルの整備や、災害ボランティアセンター立ち上げの訓練をできるだけ早く進めてほしい。

**問** 成は、社会福祉協議会と連携しながら整備を進めたい。図上訓練の実施は、このマニュアル作成で社会福祉協議会と協議する中で併せて検討。

**問** 危機管理の専門職員として再度退職幹部自衛官の採用・配置を行う考えは。

**答** 町長 今後しっかりと検討していきたい。

**問** 児童・生徒の生活環境を考え検討

**答** 町内小・中学校では、教室によってエアコンの効きが悪く、今年の夏は室温がかなり高くなる（30℃を超える）日があったようだ。今後の学校での対策として、移動可能な空調設備の整備を

**答** 教育委員会事務局 長 予算などを考慮し、児童・生徒の学

## 移動可能な空調設備を



移動可能な空調設備があれば、バレーボール大会でも使用できる（吉中体育館）

### 三二解説

※1 BCP（業務継続計画）被災時に、利用できる資源に制約がある状況下で優先的に行う業務を特定し、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保などをあらかじめ定める計画。

※2 端末 町の小・中学校では、児童・生徒全員にChromebookという端末を貸与。小学生の低学年はタブレット、高学年と中学生はノートパソコンを使用している。

校生活環境を最優先に考えながら検討したい。

**問** 吉岡町の小中学校ではHiBALIプランの実践が進んでいるが、一部ではまだ端末を使わない旧来の授業が行われている。現場への適正な助言が

**答** 必要だと考えるが。教育長 確実に改善が必要。教員の工夫と授業力の向上ということが、差し迫った課題。子どもに育てて行動できる力を育て、これからも指導的に行いたい。



# 発生する精製塩の解決策は



ひろしま たかし  
**廣嶋 隆** 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## 答 売り払いや施設内で保管

**答** 町長 重要な「基本構想」だが、結

合のHPに掲載された。町民への告知方法は。

**問** 計画的に次期ごみ最終処分場の整備を進めるため、施設規模や構造などの基本となる考え方を示した「基本構想」が、渋川広域組合のHPに掲載された。町民への告知方法は。

**答** 住民課長 エコ小野上処分場と同様に、精製塩の売り払いを検討しているが、需要自体多くなく、産業廃棄物として有償で処理することや、施設内で保管することも検討。

**問** 次期ごみ最終処分場で、発生が予想される精製塩の解決策は。

**答** 住民課長 地権者や、地元説明会、地元自治会との協議調整を予定している。

果的には町民に告知していない。広報6月号で次期一般廃棄物最終処分場候補地決定の知らせをした際に、併せて告知をするべきだった。

**問** 次期ごみ最終処分場候補地が決まったので、今後町は関係なく、渋川広域組合の問題と考えていないか。施設が完成するまでの町の取り組みについて町長の見解は。

**答** 町長 令和11年度の供用開始に向けて、町民に対する情報を速やかに開示し、地元自治会に寄り添いながらきめ細かな対応に努め、渋川広域組合の窓口となり、施設の完成後も責任をもって取り組む。

## 自治会施設が指定避難所になぜ

**答** 今までの施設で受け入れきれない

**問** 指定緊急避難場所である自治会集会施設が、指定避難所になぜ

兼ねた理由は。

**答** 町長 コロナ禍において、感染症を考慮した避難所運営を考えたとき、今までの

施設だけでは受け入れきれないと想定したので、各地区の集会施設なども兼ねる形で指定した。

**答** 総務課長 一定の基準を満たしているが、地震時に適していない13集会施設と、洪水時に適していない2集会施設については、それぞれの災害時における避難所としては、位置づけていない。

**問** 今回指定した25カ所の集会所が、指定避難所として一定の基準を満たしているのか。

**答** 総務課長 新型コロナウイルス感染症状況を考慮した収容人数と、通常の収容人数が異なり現時点では明記をしていない。

**問** 各施設の収容人数は算出しているのか。

**答** 総務課長 算出はしている。指定避難所37カ所の合計想定収容人数は973人。

**問** 今年3月に全戸配布したハザードマップには、指定避難所の収容人数が記載されていない。理由は。

**答** 総務課長 新型コロナウイルス感染症状況を考慮した収容人数と、通常の収容人数が異なり現時点では明記をしていない。



令和4年度1カ月平均約5トンの精製塩が発生  
(エコ小野上処分場脱塩処理装置)

# 駒寄スマート IC 周辺の安全対策は



あきやま みつひろ  
**秋山 光浩** 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## 答 交通量を注視する必要あり

**問** 駒寄スマートIC  
周辺は、歩行者や  
自転車も通るため、現  
状況の安全対策に不足  
を感じる。今後の安全  
対策への考えは。

**答** 建設課長 現在車  
道と歩道の分離は、  
外側線による路面標示  
で行っている。歩行者  
や自転車への安全対策  
は、交通量などの動向  
を注視していく必要が  
あると考えている。

**問** 現場の幅員・線形  
などを考え合わせ  
ると、もう一段階上の  
信号設置・横断歩道標  
示なども必要と感じる  
が、予定はないのか。



ここを歩行者や自転車が行っている (駒寄スマート IC 周辺)

**答** 建設課長 町では  
交通量調査・渋滞  
長調査の業務委託をし  
ている。またネクスコ  
東日本高崎管理事務所  
と協議の上、令和3年  
度に群馬県公安委員会  
に信号などの設置要望  
申請をしている。ただ  
し設置する場合、その  
時期は令和5年度以降

**問** 駒寄スマートIC  
周辺で、通勤時間  
帯に右折車両の渋滞が  
発生していることを把  
握しているか。

**答** 建設課長 右折車  
両の渋滞は、朝晩  
の通勤時間帯や休日に  
発生していることを確  
認している。

## マイナンバーカードの長所は

**答** きめ細やかな支援が可能

**問** マイナンバーカー  
ドの長所は。

**答** 企画財政課長 行  
政の効率化とし  
て、手続きが正確でス  
ムーズになる。国民の  
利便性向上として添付  
書類が削減されるな  
ど、面倒な手続きが簡  
単になる。公正・公平  
な社会の実現として、  
本当に困っている人へ  
のきめ細やかな支援が  
可能となる。

はいたのか。

**答** 住民課長 自主返  
納の件数は本年度  
4件確認している。理  
由はさまざまで個別の  
事案となるので、詳細  
については差し控えた  
い。

**問** 高齢者などの手続  
き支援について、  
どんな準備をしている  
のか。

**答** 住民課長 保険証  
機能の付加などに  
より、取得対応が難し  
い人々に対して、きめ  
細かな対応をしていく  
必要があると認識して  
いる。関係機関とも連  
携してニーズを把握  
し、どの手段が適正か  
を検討し取り組みを進  
めたい。

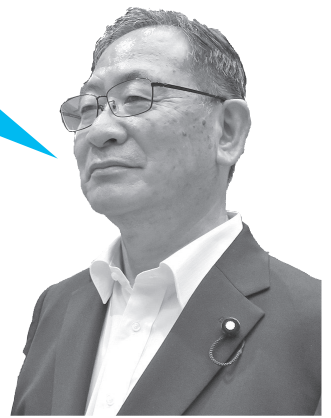
**答** 企画財政課長 県  
内の他の市町村で  
の発覚はあったが、町  
内ではない。

**問** 自主返納という言  
葉も耳にすること  
があるが、自主返納者

があるが、自主返納者



# 児童を守る通学路の安全対策は



みやうち まさはる  
**宮内 正晴 議員**



録画映像は  
こちらをCHECK

## 答 通学路安全推進会議で情報共有

**問** 交通量増加の中で、児童を守る通学路安全対策は。

**答** 町長 関係機関で構成された「吉岡町通学路安全推進会議」で情報共有して、具体策を検討。

**問** 園児送迎用バスの安全システムとは。

**答** 健康子育て課長 この安全装置は降車時確認式の装置でエンジン停止後、警報が鳴り、車内を確認後、車両後部の装置で解除する。

**問** 子どもの居場所づくりの整備が必要。また、助成金は。

**答** 教育委員会事務局 町長 「吉岡町放課後見守り教室」また、「吉中生放課後自習室」、夏休み期間の10日間「吉岡町夏の学習会」などを実施した。

**問** 健康子育て課長 町の補助金は出ていないが、補助金が交付できるように、補正予算を計上している。

**問** 学童保育や延長保育のさらなる延長はできないか。

**答** 健康子育て課長 時間延長は、保育士の確保や利用状況を見ながら保育園などと協議したい。

**問** ファミリーサポート制度のさらなる充実化は、子育て世代

**答** 教育委員会事務局 町長 町は給食費補助と食材費高騰分の予算を計上している。給食費については保護者の負担軽減を十分考慮して、今後も一定の負担を求めたい。

## 道路の標示や線の補修計画は

**問** 5〜10年で計画的に行っている

**答** 町長 横断歩道や止まれる標示は公安委員会が管理をし

**問** 町道や県道の標示や線が劣化しているが、補修工事計画は。

**答** 町長 コミュニティバスは事業として成り立たないケースがあると聞いているため、タクシー運賃等

**問** 交通安全弱者にコミュニティバスを。また、高齢者・障害者の災害時の情報伝達や交通手段は。

**答** 町長 コミュニティバスは事業として成り立たないケースがあると聞いているため、タクシー運賃等



通学路安全対策

**問** 交通安全弱者にコミュニティバスを。また、高齢者・障害者の災害時の情報伝達や交通手段は。

**答** 町長 コミュニティバスは事業として成り立たないケースがあると聞いているため、タクシー運賃等

**問** 交通安全弱者にコミュニティバスを。また、高齢者・障害者の災害時の情報伝達や交通手段は。

**答** 町長 コミュニティバスは事業として成り立たないケースがあると聞いているため、タクシー運賃等

**問** 交通安全弱者にコミュニティバスを。また、高齢者・障害者の災害時の情報伝達や交通手段は。

**答** 町長 コミュニティバスは事業として成り立たないケースがあると聞いているため、タクシー運賃等

# アフターコロナ向かう方向は



おおい しゅんいち  
**大井 俊一** 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## 答 助成の活用と感染症対策実施

**問** アフターコロナの町の向かう方向は。

**答** 産業観光課長 政府の助成を活用し、賃金の引き上げによって従業員の定着率向上が期待できる。

**答** 教育委員会事務局 長 文化活動のイベントは、電子申し込み導入など、感染症対策を実施している。

**答** 総務課長 自治会 イベントなどは、現在8自治会で再開している。ふるさと祭りも、飲食などの解禁に向け準備中。

**問** 今後の町民交流と融和を図る事業の方向は。

**答** 総務課長 ふるさと祭りなどで十分な交流ができるよう計画。

**問** 通学路の安全対策の取り組みは。

**答** 町長 最優先課題の一つと捉え、安全な環境を整えていきたい。

## 矢羽根型路面標示の設置は

### 答 中学生の安全対策効果を検証

**問** 自転車通行帯（矢羽根型路面標示）の設置は。

**答** 建設課長 中学生の安全対策を念頭に、効果を検証する必要がある。

**問** 通学路のグリーンベルト延長、ポール設置は。

**答** 建設課長 関係機関と連携し、随時検討対処していく。

**答** 建設課長 関係機関と合同点検を実施。改善策を協議し、積極的に改善を図る。

**問** 交通量の増加している通学路などの改善状況は。

**答** 建設課長 関係機関に内容をつないでいる。町道については、町が随時対応。

**問** 音楽系部活の将来に向けた方向は。

**答** 教育長 部活動地域移行を進め、将来「吉岡町吹奏楽団」を組織していく夢を抱いている。

**問** 音楽以外の芸術分野の部活動地域移行は。

**答** 教育委員会事務局 長 町文化協会の協力で、大人と共に活

**問** 動することを目指す。

**問** 中学生の部活を通じた海外交流は。

**答** 教育委員会事務局 長 現在考えはない。重要性は認識している。機会があれば、積極的に交流を図りたい。

**問** 無形文化財・民俗文化財の保護育成の考えは。

**答** 教育長 地域歴史文化の愛着と住民の絆の深まりに期待。

**答** 総務課長 各種補助金を交付してき

**答** 産業観光課長 ぶどう祭については、関係者の意見を考慮し検討したい。

**問** 子どもの貧困について町長の見解は。

**答** 町長 学校教育・幼児教育・社会福祉の面で要因背景の集約された問題と考える。



部活動地域移行の成功例「YAMADAの“ブカツヘGO!”」